

学校だより

夏休み号

重点目標 「いつも『何のため』を考え自ら行動しようとする子」



夏休みだからこそできる体験を！



本日で1学期が終了となります。子どもたちには通知表「わかば」が、担任から手渡されました。私も全員の「わかば」を一枚一枚読ませていただきました。

「困っている友だちを見つけるとそっと近づき声をかけている姿がよくみられました」「学校探検では、1年生が楽しめるようにと優しく声をかけたり、ゆっくりとしたペースで歩いたりする姿に感心しました」「わからない問題があるとそのままにせず、友だちや先生に聞いて理解するまで努力しています」といったような記述がたくさんありました。

学校生活を大切な友だちと一緒に過ごす中で、中央林間小学校の重点目標にある「何のためを考え、自ら行動しようとする」が実ってきていることにうれしくなりました。ぜひ、ご家庭でもお子さんと一緒に「わかば」を読んでいただき、1学期のがんばりを褒めていただくとともに、これからの課題について話し合っただければと思います。

コロナウィルス感染症による学習や学校生活における制約も、5月以降ほぼ解消されました。全校での運動会や4年ぶりの水泳学習。電車を使っての校外学習やまち探検も積極的に行われた1学期です。子どもたちの笑顔の量はコロナ禍と比べると明らかに増えてきました。体験的な学びによる学習効果や子どもたちの充実感、子どもたち同士の関わり合いを大切にした授業形態や学校生活を通して、相手を思いやる気持ちや一人ひとりの自己有用感を2学期以降も膨らませていきたいと思っております。



さて、明日より夏休みとなります。「今年こそは…」とコロナ禍では我慢していた予定を立てている家庭も多いのではないのでしょうか。地域の夏祭りが行われることも自治会長さん方からうかがいました。学校では夏休み中のプール開放が4年ぶりに行われます。わくわくすることがいっぱいですね。ぜひ、お子様に夏休みだからこそできる体験をたくさんさせていただければと思います。子どもたちにも終業式の話の中で、旅行や外出に限らず、時間をかけて読書することや思いっきり遊ぶこと、興味を持ったことについてとことん調べてみることも夏休みだからできることと伝えました。

とてつもない暑さの日が続いていますが、熱中症や健康に留意していただき、どうぞ心に残る楽しい思い出がいっぱいの38日間をお過ごしください。



保護者の皆様、1学期の学校へのたくさんのご協力、ご支援ありがとうございました。（校長）